

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
-------------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画	
事前にカルテで情報収集・共有し、サービスが始まれば家族様とのコミュニケーションを積極的にとり、本人・家族の思いを知るようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
カルテで情報収集はざっくりとできているが、実際に関わることで知る事が多い。 家族の思いは最初からは聞き出せていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	11	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

サービスが始まる前にカルテや情報共有にて利用者像を把握するようにしている。利用が始まれば、ご本人が安心して過ごせるよう、家族様も安心できるように利用時の様子を伝えるようにしている。慣れない利用者様には積極的に声をかけ、少しでも楽しんでいただけるよう、利用者間に入るようにしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

部会に参加できておらず、事前の情報収集が不十分なところがある。
家族、介護者に会う機会がない。（送迎をしない職員）
職員間での情報共有が不十分だと感じることもあり、家族の思いは聞き出せているが、利用者様の「～したい」を聞き出せていないと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

サービス計画書に目を通して、個々の利用者の目標を把握した上で、それに向かった支援をしていく。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	--------------------------

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
-----------------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	5人	0人	13人

前回の改善計画	
本人の「～したい」を把握し、細かいところまで職員間で共有し、チーム全員が目標を目指した関わりができるようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
本人の「～したい」は何となく分かっているが、目標を目指した関わりはあまりできていない。共有はこまめに行えている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		6	7	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	6	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	6		13
④	実践した(かかわった)内容をミーティン		6	7		13

<p>グで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？</p>					
----------------------------------	--	--	--	--	--

<p>できている点</p>	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p>
<p>プラン作成にあたり、本人の当面の目標を利用者家族と相談している。本氏の希望や訴えに耳を傾け、それが実現できるように努めている。関わりの中から利用者の思いを汲み取ることができている。部会などで共有し話し合いができている。</p>	

<p>できていない点</p>	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p>
<p>利用者本人の明確な目標を把握しきれておらず、全員の目標を把握できていない。部会などで決めた事が、実行しても途中で終わり中途半端になっている事がある。細かいところまでは把握できていないことが多い。</p>	

<p>次回までの具体的な改善計画</p>	<p>(200 字以内)</p>
<p>本人の「～したい」について部会で話し合う。毎月の会議で全利用者の話し合いを行う。（変化がなくても）</p>	

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	1人	0人	13人

前回の改善計画	確実に把握しなければいけない体調変化や様子は申し送り(書面)で共有する。 細かい変化に気が付けるよう職員間で声掛け、共有をしっかり行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	体調変化等の申し送りや気付きはその都度申し送りができている。 職員間の声掛けもこまめに行うよう、意識できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	10	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	5		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10			13

⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	12			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>以前の暮らしは大まかには知っているが、本人のその日の状態、体調に合わせた介助を行うようにしている。</p> <p>少しの変化や体調変化については共有できており、それに合わせた介助や対応はできている。意思疎通が難しい利用者の「以前の暮らし方」を知ることが難しい時がある。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「以前の暮らし方」を10個以上は把握しきれていない。会議で話し合いはするが、声にならない声を言語化できていない。以前の暮らし方より、今の環境での暮らし方をより重点的に考えてしまっていることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>毎月の会議で全職員が利用者との関わりの中で知った情報や変化を発言する。</p>	

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
---------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	0人	1人	13人

前回の改善計画	訪問時等、自宅内の環境にもう少し目を向け、そこから得られる情報から本人の暮らしを知るようにする。家族の協力やご本人の残存機能を引き出す必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族への協力依頼はできており、利用者の残存機能を意識した支援が行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	11	0	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	7		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	8		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>キーパーソンの方への情報共有ができており、助けていただける地域の方には事業所のことを伝え、協力をお願いしている。家族にも関わってもらえるように支援することができており、送迎時など近所の方と会えば、コミュニケーションをとるようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>家族以外の今までの人間関係が分からない方が多い。 人間関係の把握ができていない利用者やできていない利用者により偏りがある。 民生委員や地域の資源に何があるか分からない。 (民生委員の活動、どのような方に関わっているのか知らない。)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>送迎時に家族とのコミュニケーションを積極的にとり、全職員が家族との関係を密に取れるよう努力する。</p>	

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
----------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	2人	13人

前回の改善計画	
ご本人や家族の意向が強い方の意見だけでなく、発言力が弱い方の意向もくみ取るようにする。利用者の思いを家族に伝え知ってもらうことから始める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
家族の意向が主に反映されている事がある。利用者の意向を家族に伝えることはできている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	2	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	7	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	6	1		13

--	--	--	--	--	--	--

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>介護保険外のサービスをプランに位置づけ利用に繋がっている。体調悪化時等の、急な泊まり延長なども対応できている。利用者の変化に臨機応変に対応できるよう、その時の状態を把握するようにしているが、自分で判断できないことは相談できている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者によっては泊りや通所を多く利用されている方がいる。本人、家族の意向が強い方の意見が優先されている。変化に気付く事ができていても文章化されてなかったり、情報共有が不十分なことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者の意向を申し送りや会議で話し合い、サービス計画に反映させていく。 その都度共有し、全職員が把握するようにする。</p>	

事一⑤

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

6. 連携・協働		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
----------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	4人	13人

前回の改善計画	地域住民、関係機関との関係性を知り、行事等あれば参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウィルスの為、行事の開催はなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	1	2	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	3	7	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	0	5	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	4	6	13

--	--	--	--	--	--	--

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>長期、短期目標の見直し時期、更新時、退院前、サービス追加時など必要に応じてサービス担当者会議を開催している。（ケアマネジャー）</p> <p>運営推進会議の開催がされている。</p> <p>担当者会議に参加できている。（一部の職員）</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の活動やイベントに参加できていない。（コロナ禍のため開催しているところも少ない。）</p> <p>コロナの為、地域の方の来所も以前より減っている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>コロナ禍でも交流できるイベントを地域サービス部と共に考え、実施する。</p>	

事-⑥

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

7. 運営		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
-------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	6人	3人	13人

前回の改善計画	地域にとってどのような働きかけができるか考えてみる。 自分の意見を持つようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営に関して分からない事が多く、発言ができていない職員が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	5	4	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	3		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	4	3	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	5	13

すか?						
-----	--	--	--	--	--	--

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者やその家族からの訴えを受け止め、柔軟に対応している。意見や苦情があった時は、チーム間で共有し生かすようにしている。自分の意見は会議で伝えることができている。運営推進会議を通して利用者家族からの意見を聞くことができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域との取り組み、連携ができていない。事業所の運営に関する意見が言えていない。 会議等で発言する職員は限られており、全員が発言できていない。 会議に参加できないと、情報共有のタイミングがずれてしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者、家族、介護者からの意見や苦情は反映できているものの全職員が意味合いをすべて理解できているとは言えず自分のことばで語る事ができていない状況である。まずは自己評価項目の意味合いを理解しチームとして出来ていることを自覚し良い事例を広げていくことに注目する。</p>	

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
-----------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	6人	4人	13人

前回の改善計画	
地域交流を行うための情報を得る。 様々な研修に興味を持ち、積極的に参加する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
コロナ禍の為、会議以外の地域交流はなかった。 研修の開催も少なく、参加できていない職員がほとんどであった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		6	4	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	5	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	4	7	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	3	13

--	--	--	--	--	--	--

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>参加できる研修や勧められた研修に参加し、学ぶことができている。コロナ禍になってからは zoom を活用した法人内の研修に参加できている。ヒヤリハット、アクシデントなどを活用し共有することができている。</p> <p>介護技術を身につけるため、研修や動画から学ぶようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>資格取得への取り組みができていない。自分が思う研修などになかなか参加できていない。</p> <p>地域連絡会がどのようなものか分からない。</p> <p>仕事日以外の研修には別の予定があり、参加できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>外部との意見交換等には感染対策の視点からも更に ZOOM の活用を進める。自身の目標と照らし合わせ研修を選択できるよう視聴できる動画を増やす。</p>	

事-⑧

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和4年2月25日(17:15 ~18:30)
------------------	--	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー		メンバー	萩原・久保田・濱谷・三澤・内東・中井・船木・岸・小口・片山・西川・上田・丸山
--------------	--	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	0人	0人	13人

前回の改善計画	
個人情報の適正な管理をする。 自分が利用者の立場に立って考える。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
個人情報の取り扱いには注意している。利用者の立場に立った声掛けを気に	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	1	0	13
②	虐待は行われていない	13		0	0	13
③	プライバシーが守られている	7	5	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	3	0	2	13

⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	6	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>排泄時の声掛けや更衣時の声掛けに気をつけている。 必要な方への成年後見制度の利用ができています。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>スピーチロックをしてしまっていることがある。 ホワイトボードや管理日誌が利用者や来所者から見えるところにある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>ホワイトボードや管理日誌等の個人情報の管理を工夫する。ICT のさらなる利活用を深め現状の不具合点を検証しカスタマイズできるよう図っていく。</p>	

事-⑨

--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	「その人らしく気持ちよく生きる」を理念に在宅で暮らし続けることを医療と介護のサービスが一体的に全力で支えます。事業所はこの春4年目を迎えました。ホールは窓から陽光が入り明るく開放的な空間でゆったりと過ごして頂けます。訪問、通所、宿泊を柔軟に組み合わせ「その人らしさ」を支え続けます。
事業所名	小規模多機能ホーム 野里	管理者	辰田 美由起		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	0人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の入職や異動もあるが今回の自己評価を生かし同じ項目で同じ結果にならないように取り組む。	日々のミーティングや部会を通し職員間の意見交流が盛んに出来るよう意識して取り組んだ。	全職員一堂に会議を持つことは難しいがミーティングと自己評価表を合わせ、ほぼ全員の意見が反映されていることを確認した。	
B. 事業所のしつらえ・環境			南面に大きな窓があり開放感のある明るいホールでくつろげる。通りからは見えにくく静かで落ち着ける空間になっている。	
C. 事業所と地域のかかわり			秋祭りなどこれまで出来ていた行事は出来ていないが会議で意見交換もでき介護相談に立ち寄られることもある。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域住民の一人として生活している事が実感できるよう散歩や買い物、趣味の集いなど活動を広げる支援を目指す。	近隣住民との関りが途絶えないよう送迎時や訪問時に声を掛け間に入り代弁するなど支援し、在宅生活の理解を広めた。	安否確認や買い物など訪問サービスについて具体的な内容を知ることによって生活支援のイメージが持てた。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続して地域包括ケアシステムや共生社会の在り方など地域の方に考えて頂く機会にしていく。	感染拡大による延期で十分に会議を開催できなかったが参加者で地域の高齢者の現状や介護サービスなどについて共有した。	コロナ禍で交流も限られ取り残される人も出てくる。自治会等情報共有し考えることで助けあいの意識が強まる。	地域の安心拠点として介護や地域の困りごとなどを相談しやすい仕組みをつくり会議で発信していく。

F. 事業所の 防災・災害対策			大きな災害はないのではないかと の地域の声があるがハザード マップを参考に災害対策を充足 させていく必要がある。	現在作っている防災・災害対策が 現実に機能できるよう地域ととも に点検し更新していく。
--------------------	--	--	---	---